

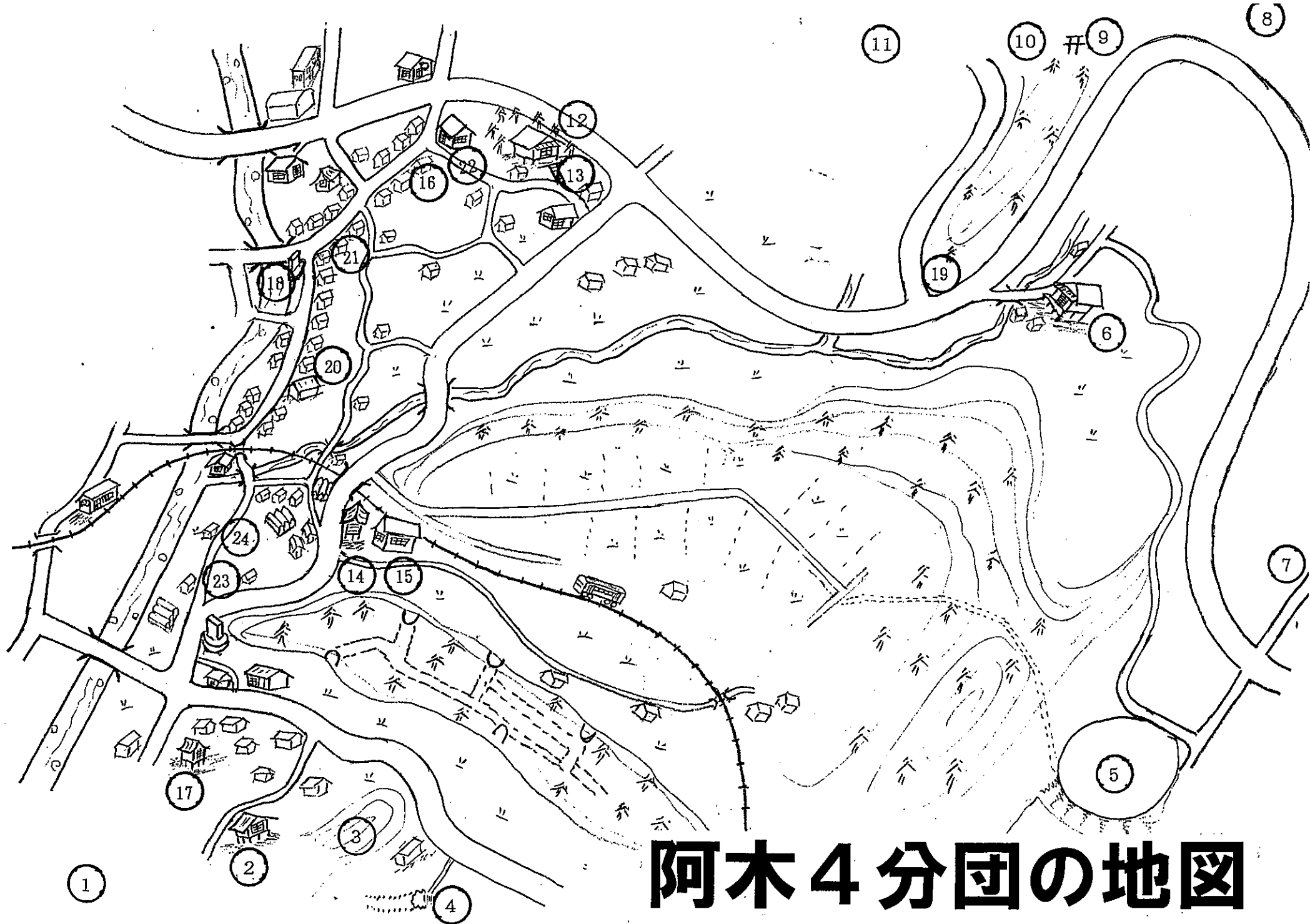
平成17年度

あぎっ子 お宝探検隊

青少年を育てる地域活動支援事業



あぎ ぶんだんしせきしりょうしゅう
阿木4分団史跡資料集



阿木4分団の地図

もくじ

あぎ ぶんだん ちず	阿木4分団の地図	...	1
あぎ ぶんだん しせきしょうかい	阿木4分団の史跡紹介		
はちやど むほうとう	1. 八屋砥の無縫塔	...	2
つしまじんじゃ	2. 津島神社		
はちやどこふんぐん	3. 八屋砥古墳群		
しょうにゅうどう	4. 鍾乳洞		
うちぐいだい いけ	5. 打杭第1ため池	...	3
さいのかみじんじゃ つまかみ さちかみ	6. 塞之神神社 (妻神、幸神)		
うちぐい ごりん	7. 打杭の五輪		
くろださんじゅうさんかんのん	8. 黒田三十三観音		
てんじんじんじゃ	9. 天神神社	...	4
かさとうば	10. 笠塔婆		
りょうでんじけんみざかいりぐち	11. 両伝寺検見坂入口		
にやこうじじんじゃ	12. 若王子神社		
にやこうじじんじゃ とうろう	13. 若王子神社の燈籠	...	5
くす だやくしどう	14. 久須田薬師堂		
こんびらさま	15. 金刀比羅様		
ばとうかんのん	16. 馬頭観音		
はちやどこうほうどう	17. 八屋砥弘法堂	...	6
はしばさいがいひ	18. 橋場災害碑		
みち	19. 道しるべ		
くす だいせき	20. 久須田遺跡		
こうしんとう	21. 庚申塔	...	7
はねざか	22. 羽根坂		
	23. やかんころがし		
どいがみ	24. 土井神		

阿木4分団の史跡紹介



1

はちやど むほうとう ほういんさま はか
八屋砥の無縫塔と法印様の墓

じもと みずがみ よ
地元では水神と呼ばれている。

みぎ ほういんさま はか ほういん くらい たか ほうさま いわむら とのさま
右は法印様の墓。法印とは位の高いお坊様で、岩村のお殿様から罰を受けて阿層田へ来て住んだといわれている。



2

つしまじんじや
津島神社

てんのう はちやどぐみ うぶすな げんろく ねん ねん
お天王さまは八屋砥組の産土神である。元禄3年(1690年)
あいちけん つしまし てんのうたいしや ぶんれい むか まつ
愛知県津島市にある天王大社より分霊を迎え祀られたものである。
さいじん すさのおのみこと なつ やまい なお いなさく びょうがいちゆう
祭神は素佐之男命であり、夏の病を治し、稲作の病虫害
くじよ ねが かみ
駆除を願う神である。

うぶすな う まれた とち まも かみ
※産土神：生まれた土地を守る神



3

はちやどこふんぐん
八屋砥古墳群

はちやど つうしやう なかね こふん き ちよつけい
八屋砥の通称・中根に古墳が4～5基ある。どれも直径10
m くらいの円墳である。つくられた時代は調査がなされていない
えんぶん じだい ちようさ
いのではっきりしないが、今から1400年位前ではないかと
おも
思われる。

むらびと そせん ねむ こふん おが く
村人はこの祖先が眠る古墳を拝みながら暮らしたのであろう。



4

しやうにゆうどう
鍾乳洞

いま ぜんまんねんまえ き とお じだい うみ なが
今から3千万年前という気の遠くなるような時代に、海の流れ
かいがら あつ
により貝殻が集まってできたのが貝殻石灰岩である。これをなが
ねんげつ ちかすい けず つく ちか どうくつ しやうにゆうどう
い年月をかけて地下水が削り、作られた地下の洞窟が鍾乳洞
である。とうのう ゆいいつ しやうにゆうどう まわ やま なか かいがら
のに入った岩がたくさんある。



5 うちぐいだい いけ 打杭第1ため池

たいしょう ねん あぎほんごうちせりくみあい つく いたけ あぎ
大正8年、阿木本郷耕地整理組合で作られたため池で、阿木の
くすだ いわむら みず ひ いけ みず あぎがわ と い
久須田と岩村に水を引いている。池の水は阿木川から取り入れ
ている。



6 さいの かみじんじゃ つまかみ さちかみ 塞之神神社 (妻神、幸神)

ねん た じんじゃ こ こ ひと まい
1500年ごろ建てられた神社。ここへ子どものない人がお参
りすると子どもが授かるとか、恋しい人と必ず一緒になれるな
どの功德があるといわれている。



7 うちぐい ごりん 打杭の五輪

いわむら しろ み ほうめん きもん わる ほうかく しろ
岩村のお城から見るとこの方面が鬼門(悪い方角)のため、お城
に悪いことが起きないようにお祀りしたもの。

ごりん ちりん しかく すいりん えん かりん さんかく ふうりん はんげつけい くら
※五輪：地輪(四角)・水輪(円)・火輪(三角)・風輪(半月形)・空
輪(宝珠形)の順に積み上げられた塔。



8 くろださんじゅうさんかんのん 黒田三十三観音

さいの かみじんじゃ めいじ しんぶつぶんり かみさま
むかしは塞之神神社にあったが、明治になって神仏分離(神様と
ほとけさま わ まつ めいれい かんのおんさま
仏様を分けてお祀りせよ、という命令)があり、観音様をここ
に移した。

	<p>9 てんじんじんじゃ 天神神社</p> <p>めいれき ねん (1657年) 9月に建てられた神社で菅原道真公がまつ 祀られている。(神社名細帳) いわむらはんちようちよう げんろく ねん (1690年) に建てられたと記し てある。</p>
	<p>10 かさとう ば 笠塔婆</p> <p>りようでんじ かいたく おぎのへいえもんもとお いちへいじ はか 両伝寺を開拓した、荻野平右衛門元雄(一平次)のお墓。</p>
	<p>11 りようでんじ けん み ざかいりぐち 両伝寺検見坂入口</p> <p>りようでんじ やまの た つう みち やまの たがわ けんみざか 両伝寺から山野田へ通じる道で、山野田側が検見坂といわれ、 むかし石高を決めたと言われている。石高によって年貢が決め られた。</p> <p>※石高：土地の表示に用いられた米の収穫高 ※年貢：昔の税金で、米・麦・大豆などをおさめた。</p>
	<p>12 にゃこうじじんじゃ 若王子神社</p> <p>しょうおう ねん (1653年) に建てられた若王子神社に祀られている御祭 神は不明である。境内に末社が10社もあり古い伝承がある。昔 は八幡神社からまで若王子神社までみこしの渡御が行われてい たようである。昭和47年八幡神社を建て直す時は御御盥をこの 神社へ移して行われた。</p>



13 にかこうじじんじゃ どうろう
若王子神社の燈籠

どだい ねこ あし かたち どうろう
土台が猫の足の形をした燈籠がたっている。



14 くすだやくしどう
久須田薬師堂

やくし りこうによらい まつ やくしによらい びょうき なお
薬師瑠璃光如来が祀ってある。薬師如来はすべての病気を治す
という仏様で、左手に薬つぼを持っている。



15 こんびらさま
金刀比羅様

まんえんがねん がつ た
万延元年6月に建てられたといわれている。



16 ばとうかんのん
馬頭観音

むかし うま にもつ はこ たいせつ
昔は馬は荷物を運ぶために大切にされた。
その馬が疲れて死んだ時や、急な山道を安全に通行できること
を願って馬頭観音を建てた。
あぎ さか おお かくち
阿木には坂が多かったので各地にある。



17 はちやどこうほうどう 八屋砥弘法堂

いつの頃かこの尊像が盗まれたことがあった。ところが山路づたいにある洞の出口まで来たとき重さに耐えかねてここに置いていった。村人がこれを探しだし、元のところに祀った。それからこの地を盗人洞と呼ぶようになった。



18 はしばさいがいひ 橋場災害碑

阿木地区では昭和28年、32年、36年とほぼ4年ごとに集中豪雨による災害が発生した。中津川市に合併した昭和32年以降復旧工事が行われ、昭和40年4月に今のようになり、その記念としてこの碑が建てられた。

JAの前の橋はこのときの水害で道路や家が流されたなごりである。コンクリートの部分もがもとの阿木川の川幅より倍になっていることがわかる。



19 みち 道しるべ

昔の道路標識。『右へ・・・、左へ・・・』と書かれている。



20 くすだいせき 久須田遺跡

平成2年に発掘が行われ、縄文時代中後期、古墳時代の遺物が出土した。



21 庚申塔

庚申こうしんの日にひ眠ねむると、体からだの中なかに住すんでいる3匹ひきの虫むしが天てんに昇のぼって
神かみに悪口わるくちを言いうといわれている。

そのため、庚申こうしんの日ひには眠ねむらずに神かみを祭まつる。

※3匹ひきの虫むし：三戸さんしの虫むしといいい、上戸じょうしの虫むしは頭あたまに住すみ目めを悪わるくし皺しわを増ふ
やし髪かみを白しろくし、中戸ちゅうしの虫むしは腸ちように住すみ内臓ないぞうを悪わるくして
悪夢あくむを見みさせ、下戸げしの虫むしは足あしに住すみ命いのちを奪うばい精せいを悩なやます。



22 羽根坂

少しすこ離はなれているが「高貝たかかい」という地名ちめいがある。ここで戦たたかいがあ
って勝かったほうの軍勢ぐんぜいがこの羽根坂はねざかまで来きて分捕ぶんとり品ひんを焼やいた
ため灰坂はいさかといったという。これが言いい伝つたえの羽根坂はねざかであるが、
「ハネ」というのは粘土ねんどが取とれる土地とちをいうのでこの付近ふきんで粘
土とが取とれたのであろう。



23 やかんころがし

むかしは杉すぎの大木たいぼくが繁しげり、昼ひるでも薄暗うすぐらい道みちであった。雨あめが降ふる日ひ
などにここを通とおるとやかんころがし（いたづらをするおばけ）
がコロコロと落おちてくるといわれ、恐おそろしいところでした。



24 土井神

土井どいとは土壘どるいで屋敷やしきの周まわりを囲かこったところをいう。ここは武家ぶけ
屋敷やしきであったであろう。そして先祖せんぞが家いえの守まもり神かみとして祀まつった
ものであろう。

※土壘どるい：土つちを積つみ上あげて築きずいた砦とりで。